



藤田 実久ちゃん

中新田、藤田和也・作子さんの2女=1歳1カ月



満島 夕佳ちゃん

大谷、満島広孝・智子さんの長女=1歳



遠藤 篤史ちゃん

門沢橋、遠藤修・智美さんの長男=1歳1カ月



石田 真規ちゃん

上郷、石田広朋・志津子さんの2男=1歳3カ月



本田 星花ちゃん

国分南、本田寛・有花さんの長女=1歳



平尾 峻馬ちゃん

河原口、平尾正人・亜紀子さんの長男=1歳



澤 朱々音ちゃん

杉久保、澤雅之・麻記さんの長女=1歳1カ月



田中 秀汰ちゃん

杉久保、田中義治・美和子さんの長男=1歳2カ月

まんまる赤ちゃん

訂正 11月1日号「まんまる赤ちゃん」で松元菜樹ちゃんの氏名は、松本菜樹ちゃんの誤りでした。

このコーナーに掲載を希望する方は… 電話で広報広聴課(内271)へ。ただし、申し込み時点で1歳未満の赤ちゃんに限りまして、お早めにごぞ。なお、申込数が多く掲載できない場合もあります。



(▷場所 JR海老名駅西側 ▷撮影日 10月20日) 東柏ケ谷在住・野澤振作さん撮影

みなさんからの作品

海老名の風景 ⑫



市内小学生が農作業体験

小学5・6年生40人が、市内農家の協力で酪農・園芸などの農作業を体験する「体験農業研修」が10月下旬に行われ、豊作の大きさ、収穫の喜びなどを学びました。



▼交通事故防止キャンペーン

11月9日、海老名駅前で、増え続ける交通事故を防ぐための街頭キャンペーンが行われ、道行く人に交通安全を呼びかけました。



▲パソコンの基礎を学ぶ

高齢者がパソコンに触れ、入門のきっかけとなる「パソコン教室」が開催され、インターネット体験やワープロについて学びました。

秋の姉妹都市「白石市」を訪問

市内の方を対象に募集した、姉妹都市の宮城県白石市を訪問するツアーが11月上旬に行われ、自然・温泉そして人情味あふれる城下町を訪れました。



今月のプロフィール

テコンドーで全国大会出場の大塚 英輔さん



練習中の大塚さん(左)

テコンドーは、空手に似たスピードのあるけり技と、こぶしによる突きが特徴。今年、シドニーオリンピックから正式種目になり、岡本選手が銅メダルを獲得し注目の格闘技です。このテコンドーで全国レベルの活躍をしているのが、大塚英輔さん(中新田在住・柿生高校3年)。11月26日開催の全国大会に、フェザー級で出場しました。大塚さんが、テコンドーを始めたのは中学1年のとき。小学3年から空手を習っていましたが、テコンドー雑誌のけり技の格好良さに魅せられたのがきっかけ。以来めきめきと頭角を現し、今年4月に大阪で行われた「第1回全日本ジュニアテコンドー選手権大会」の高校男子重量級の部で見事優勝しました。試合は、通常3分3ラウンドで戦います。激しいけりが主体なため、試合が終わると足を痛めたりすることもあるとか。大塚さんも小さなけりは絶えません。それが、技が決まったときや、試合に勝ったときの嬉しさは、痛みにかえられないそうです。

目標はアテネ五輪

「将来の夢は、4年後のアテネオリンピックでメダルを取る事です。テコンドーは、20歳代前半での活躍がピークと言われているため、次のオリンピックがチャンスです。これからは、同年代だけではなく、年上の強豪とも対戦して勝っていかなければなりません。今回の全国大会も、ジュニアではなく一般として参加しました。「大きな大会で勝つことも重要ですが、テコンドーをもっと多くの人に知ってもらいたいです」と大塚さん。イギリス会県支部(☎236・2010)での教室を、1年半前に父親と2人で始めました。市内のコミセン等を利用して、無料で行っています。最初は父親と2人の練習でしたが、大会で好成績を収めるたびに会員が増え、今では約40人が参加するまでにになりました。オリンピック出場とテコンドー普及という2つの目標をめざし、大塚さんは、今日も練習を続けます。

2年前から、1日号のトップページで、未来に向けた技術とその開発に取り組んでいる施設・人物を紹介しているという「21世紀へ前進

編集後記

する海老名」を掲載してきました。今回は最終回ですが、少しでも海老名の未来を見ていただけたら幸いです。(三)